

小池まさあき

事務所 成田市東町 155-3 TEL 0476-22-0688 FAX 0476-36-8538
E-mail koike@ngy.3web.ne.jp

プロフィール

<生年月日> 昭和 41 年(1966 年)9 月 18 日 <血液型>O 型 <趣味>スキー
<経歴> 三里塚小一遠山中一千葉日大一高一日大理工学部一日大大学院理工学研究科
平成 7 年成田市議会議員当選 以後 4 期当選 第 34 代成田市議会議長等を歴任
<現在> 県議会 県土整備常任委員会副委員長 ちば自民党青年局 政策交流委員長



成田国際空港が引き続き海外からの玄関口であるために！

現在の国際線拡充議論の主役は羽田

羽田空港の国際線枠の獲得を巡って各航空会社で激しい争奪戦が繰り広げられていました。これは、羽田空港の国際線枠が 2014 年春からこれまでの深夜早朝 3 万回と昼間時間帯 3 万回の計 6 万回に加えて、さらに収益率の高い昼間時間帯に 3 万回が増枠されるためです。

羽田空港の再国際化が現実となり、就航地の制限もなくなったことから欧米や中東の中長距離路線の充実も徐々に図られつつある中で、成田空港発着の国際線の一部が羽田空港へ移るという現実も生じています。また国では、現在の計画である成田 30 万回、羽田 44.7 万回の合計約 75 万回でも将来不足するとして、「首都圏空港をめぐる航空政策上の課題」について本格的な議論が開始されました。さらに 2020 オリンピック・パラリンピックの開催決定もあって、この議論が加速しつつあります。

成田空港は、計画の 30 万回までに達していませんが、既に利便性の高い時間帯には全く余裕がないのが実情です。一方、羽田空港も空域等の問題があって、簡単には発着回数を増やせないという現実があります。

これらの状況に対して、国の交通政策審議会の部会において、何が出来るのかを専門家を交えて議論される見込みで、羽田空港の 5 本目の滑走路や管制空域の見直し、また横田飛行場の活用、第 3 空港の建設など様々な議論が展開されつつあります。

かつて「成田は限界」との批判を浴びながら、30 万回の合意にまでこぎ着けた成田国際空港です。これからも地元にとってまた千葉県にとって、そして日本にとって発展すべき成田国際空港となるように努力が必要な時期になってきていますので、成田空港の更なる機能拡充、発展のために何が必要なのか、騒音地域の方々の思いも理解しながら市民・県民がもっと課題や問題を理解していく必要があります。

震災・原発事故による県外からの避難者 依然約 4,000 人 減少せず

東日本大震災と福島第 1 原発事故による県外からの避難者が、9 月末現在わかっているだけでも、千葉県内に依然として約 4,000 人の方々が居住しています。

議会の一般質問では、震災と原発事故から 2 年半を経過し避難生活が長期化する中で、避難されている方々の把握が十分でないことや行政としての対応が明確でない点を指摘して、被災県である千葉県であるからこそ避難者の痛みや苦しみを理解した上で各市町村、支援団体との連携を密にすべきと訴えました。

私たちの周りに「ふるさとに帰りたくても帰れない」、「いつ帰れるかもわからない」という方々が多く存在している現実を広く県民が理解して、福祉をはじめとする行政サービスが滞りなく受けられるように、また様々な支援体制が構築されるように努力すべきであると考えています。

避難先	避難元県				
	岩手	宮城	福島	茨城	4県計
1 船橋市	9	36	405		450
2 柏市	7	15	397	2	421
3 千葉市	19	43	221	4	287
4 市原市	7	20	249	3	279
5 松戸市	20	20	216	1	257
6 市川市	10	12	214		236
7 流山市	7	15	208	11	241
8 成田市	1	6	187		194
全体	151	321	3406	32	3910

データ: 全国避難者情報システム

パスポートの申請・受給が市町村窓口で可能に

先の9月議会で森田健作知事は、全市町村に旅券事務の申請・受給について権限移譲する方針を表明しました。平成18年の法改正によって、旅券事務の権限委譲が市町村へ可能となっていました。

実際に市の窓口でパスポートの申請と受け取りができるようになるのは、各市町村との調整や協議も必要なことから、早くても平成26年度以降になる見込みですが、オール千葉で成田国際空港を盛り上げてもらう一助にもなればと考えています。



千葉県総合計画「新輝け！ちば元気プラン」が決定！

9月議会(10月22日閉会)で、平成31年度を目標年度とした千葉県の基本構想を議決。あわせて平成25年度から平成28年度までの実施計画が決定しました。

基本構想においては、県内にずっと住み続けたい県民の割合を、平成31年において85%（参考：平成21年度77.7%、平成24年度78.1%）を超えることを目指し、県内を5つのゾーンに分けて各地域の方向性も示されています。

成田市が入る「空港ゾーン」は、「成田空港の機能拡充による効果を受け止め、国内外の活力を呼び込み、県経済の活性化にチャレンジするゾーン」と位置付けられています。

また、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催決定を受け、急きょ成田空港を有する千葉県として果たすべき役割と、オリンピック開催を契機としてとらえ、地域振興や海外への魅力発信の一層の推進につなげていくべきとの内容が加えられました。

県議会としては、様々な議論の末、執行部の原案に対して以下の付帯決議を行いました。

付帯決議

1. 県財政は、引き続き厳しい状況にあるが、「暮らし満足度日本一」を目指し、効率的、効果的な財政運営を行い、総合計画の施策の推進に努めること。
2. 計画の進捗率の公表など、県民にわかりやすい進行管理体制を確立し、施策事業の評価を適切に行い、その結果を施策にきちんと反映させていくこと。
3. 時代潮流、社会環境の変化に的確に対応していくため、計画に計上されていない新たな政策課題についても迅速に対応していくこと。
4. 2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催決定を受け、経済面等において千葉県がその効果を十分に享受できる環境づくりとして、観光の振興、道路交通網の整備、統合リゾート(IR)の検討など、必要な施策を推進していくこと。

台風26号の爪痕に思う事

先の台風26号による豪雨等で千葉県は甚大な被害を受けました。特に唯一成田市において土砂くずれによる犠牲者が出てしまったことに深い悲しみを覚えます。

ここに改めて犠牲となられた方のご冥福をお祈りすると共に、被災された方々にお見舞いを申し上げます。まだまだ復旧作業が完了していない箇所が多く見受けられますが、改めて災害に強いまちづくりを進めると共に、発災時には迅速かつ適切な活動ができる体制を整えなければならないとの思いを強くしたところです。県財政も厳しい中ではありますが、市民・県民の生命と財産を守らなければならない使命を心に刻み今後も活動してまいります。

千葉県議会議員 小池正昭